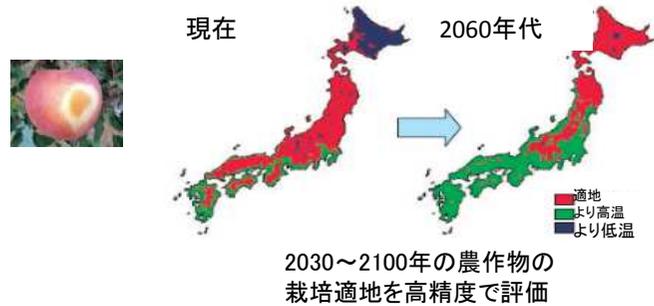


1. 観測の概要

(1) 農業分野に係る気候変動の影響評価

・土地利用型作物(水稻、大豆、麦類)、果樹、野菜、飼料作物など代表作物に対して気候変動の影響メカニズム解明のための各種試験を通じて、気候変動の影響のメカニズムを解析し、気候変動に伴う我が国の農林業への影響を高精度で評価する。



(2) 農業分野における気候変動適応技術の開発

・土地利用作物(水稻、大豆、麦類)、野菜、果樹、飼料作物などにおいて、気候変動の進展を踏まえた、将来の生育不良、品質低下等の被害を軽減できる品種・育種素材、栽培管理技術を開発する。



2. 社会課題解決に対する効果

【効果】

・①気候変動が我が国の農業に与える影響に関し、地域に即した詳細な栽培適地の変化等に関する情報を提供して産地や農業者の対応を促すとともに、②気候変動に適応した品種・栽培技術等を開発して農業者に提供することで、気候変動による農業被害の低減を図ることができる。  
・気候変動に負けない強靱な産地の形成・国土の保全が図られる。

【地球観測の実施方針のどの課題解決に役立つか】

・本研究開発は、①気候変動に伴う悪影響の探知・原因の特定、②地球環境の保全と利活用の両立、④食料及び農林水産物の安定的確保に役立つ

【「Society5.0」の貢献】

・本研究開発は、農業分野における気候変動の影響評価と適応策の情報提供、気候変動に対応する新品種の育成、安定生産技術の開発により、「Society 5.0」を構成する「地球環境情報プラットフォーム」、「スマート・フードチェーンシステム」及び「スマート生産システム」の構築に貢献する。